

阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりのパネル展示を行いました！

【開催日】

平成30年1月16日(火)・17日(水)／会場:ビーンズ阿佐ヶ谷でくて広場
 平成30年1月21日(日)・22日(月)／会場:阿佐谷地域区民センター } (参加人数延べ 302名)

区では、平成30年3月、阿佐ヶ谷駅北東地区における都市計画手法の活用を明らかにするため、「杉並区まちづくり基本方針(杉並区都市計画マスタープラン)」の一部改定を行いました。

改定に先立ち、一部改定(案)についてご意見を伺うため、1月にオープンハウス形式の説明会を開催し、延べ300名を超える皆様のご来場をいただきました。

また、この説明会と合わせて、それぞれの会場で、阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりの取組に関するパネルを展示し、来場された皆様からのご意見やご質問に対して、区職員が直接説明を行いました。

オープンハウス当日の写真



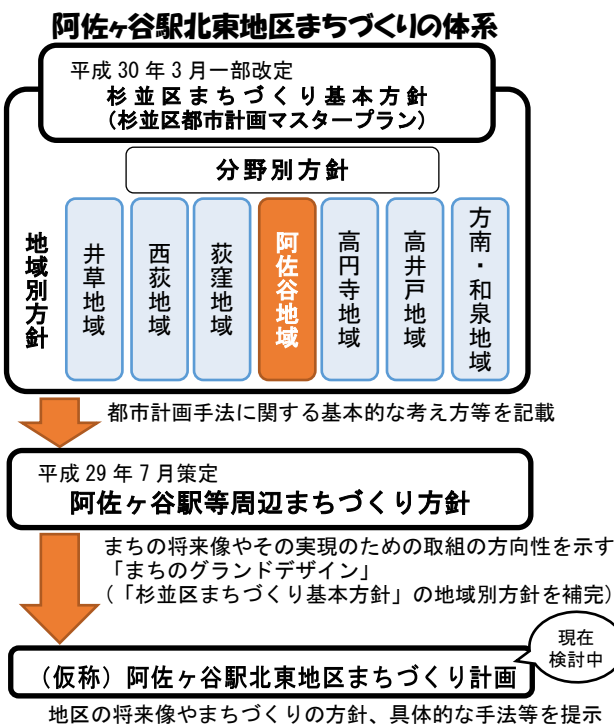
場所:ビーンズ阿佐ヶ谷でくて広場



場所:阿佐谷地域区民センター

オープンハウスの主なご意見

壁面をそろえて、道路斜線がなくなる街並みは、良いと感じた。	新進会商店街通りは狭くて危険なので、安全対策を進めてほしい。	けやき屋敷のみどりは貴重なので、可能な限り残してほしい。
道路の拡幅に合わせて、交通規制も考える必要があると思う。	けやき屋敷西側の道は、歴史ある道としてシンボルロードになると良い。	施設整備の方針の全体像が分からなかったため、説明してもらい良かった。



今後のまちづくりの進め方について

区では、今後も意見交換会等を開催しながら、「まちづくり計画」(※1)の策定を目指すとともに、地区計画(※2)制度の活用等を検討していきます。意見交換会等のこれまでの取組経過と今後の予定は、次のとおりです。

平成29年度の取組経過

- 平成29年
 11/19開催 第1回意見交換会
 12/2開催 第2回意見交換会
 平成30年
 1/16・17・21・22開催 オープンハウス
 1/31開催 第3回意見交換会
 2/23開催 第4回意見交換会
 3/20開催 第5回意見交換会

平成30年度

- 【今回】
8月29日(水) 第6回意見交換会
 【9月～(予定)】
 ・意見交換会やオープンハウス形式のパネル展示等
 ※オープンハウスとは
 会場にパネル等で資料を展示し、来場された皆さまに区の担当職員等が直接説明する方式です。

「まちづくり計画」の策定

※まちづくり計画の策定にあわせて、まちづくりを実現する手法として、**地区計画制度の活用等**を検討していきます。

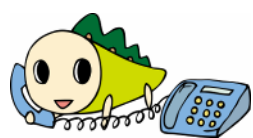
※今後の意見交換会の開催日時は、案内チラシ等をお配りしてお知らせします。

※1「まちづくり計画」とは、「阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり方針」など関連する上位計画、地域からの意見、地域の現状や課題等を背景として、まちづくりの目標や方針、それらを実現する手法(地区計画等の都市計画の決定、関連する制度や事業の活用など)を位置づけるものです。

※2「地区計画」とは、都市計画法による制度で、目指すべきまちの将来像を実現するため、地区の特性に応じた道路の位置や建物の建て方等の制限などを、都市計画にきめ細かく定めるものです。

「阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり(阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり方針を含む)」のこれまでの取組や詳細については、杉並区公式ホームページをご覧ください。
 検索方法: トップページ > ぐらしのガイド > まちづくり > まちづくり > 阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり

杉並区 都市整備部 市街地整備課 地区計画係
 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
 電話 03-3312-2111 (内線3373)



お問い合わせ

阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりだより No.2

平成30年8月

日頃より杉並区のまちづくりにご理解とご協力をいただきありがとうございます。

区では、昨年11月から、阿佐ヶ谷駅北東地区(区域については、下の図をご覧ください。)の皆様との意見交換会等を開催しながら、「(仮称)阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画」(以下、「まちづくり計画」という。)の検討を進めています。

今回のまちづくりだよりでは、第3回以降の意見交換会等の主な内容やご意見を紹介するとともに、第6回意見交換会の開催についてもご案内しています。

是非ご覧いただくとともに、今後の意見交換会等へのご参加など、引き続き皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

第6回意見交換会を開催します！！

開催日時:平成30年8月29日(水) 19時00分～20時30分

会場:阿佐谷地域区民センター 2階 第6集会室

対象:まちづくり検討区域内の皆様(右下の図をご覧ください)
 (お住まいの方、営業されている方、土地・建物の権利をお持ちの方)

〈意見交換会の主な内容(予定)〉

- これまでの取組の振り返り
- まちづくり計画の考え方等
- ◇阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり検討区域外の方も意見交換会の傍聴は可能です。
- ◇お車でのご来場はご遠慮ください。
- ◇お子様をお預かりする体制がございませんので、あらかじめご了承ください。

阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり検討区域図

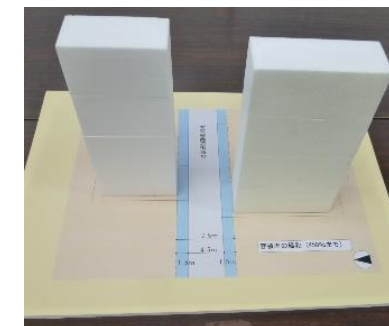


意見交換会の進め方

これまでの意見交換会では、区からの説明や情報提供だけではなく、参加された皆様が、まちの課題やまちづくりのイメージを実際に感じて、共有していただけるよう、まち歩き(第1回)やまちづくりの先行事例の見学(第2回)を行いました。第3回以降は、会の冒頭で前回の内容を振り返るとともに、スライドや模型(第3回)を使いながら、阿佐ヶ谷駅北東地区のまちづくりの考え方について、意見交換を行いました。



← スライドを活用したまちづくりのイメージの説明



← 模型を使って、商店街通りの街並みイメージを共有(第3回)



意見交換会の内容（第3回～第5回）



第3回意見交換会 ● 検討テーマ：「安全・安心」・「にぎわい」

【開催日：平成30年1月31日(水) / 会場：阿佐谷地域区民センター2階 第6集会室 / 出席者：14名】
新進会商店街通りを中心とした「安全・安心」「にぎわい」等について、街並み誘導型地区計画の活用イメージと合わせて、意見交換を行いました。

説明した主な事項

① 歩行者や買い物客の安全性

建替え時に、建築物を道路から後退して建てることで、歩行空間が生まれ、歩行者等の安全性・快適性が高まります。商店街では買い物環境が向上することで、にぎわいの創出も期待されます。

② 建築物を建替える際の手法

街並み誘導型地区計画を導入すると、建替え時に建築物を道路から後退して建てることで、斜線制限等が緩和され、駅前商店街にふさわしい土地利用が可能になります。

③ 良好な街並みの形成

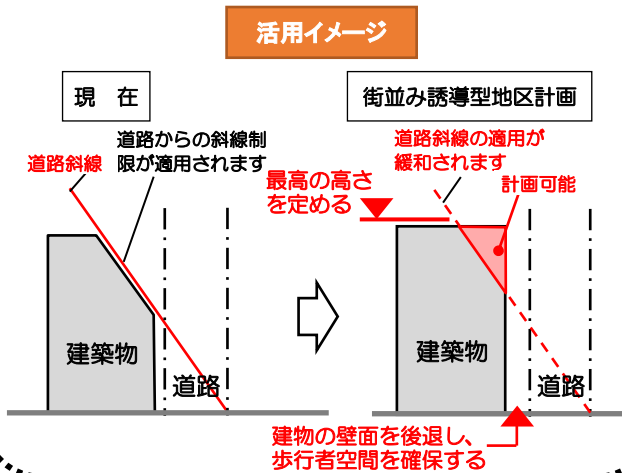
建替え後の建築物の高さや壁面の位置がそろう事で、調和のとれた良好な街並みが形成されます。

主なご意見

- 壁面後退により歩行者空間が広がるので良いと思う。
- 壁面後退の距離は1.0m～1.5mくらいが適当だと感じる。
- 壁面後退の数値を2段階にするのも良いと思う。

街並み誘導型地区計画とは？

都市計画法に定める地区計画の手法のひとつで、必要な道路空間を確保し、土地の有効利用を促進するなど、街並みを整えるための制度です。建築物の壁面の位置の制限や高さの最高限度等を定めることで、道路幅員による容積率制限や斜線制限等を緩和することができます。



第5回意見交換会 ● 検討テーマ：区域内の街並みのありかた

【開催日：平成30年3月20日(火) / 会場：阿佐谷地域区民センター2階 第1集会室 / 出席者：19名】
区域内の街並みのありかた（景観やみどりなど）などについて意見交換を行いました。

説明した主な事項

① みどりの保全と創出について

区域内の貴重なみどりである、けやき屋敷の屋敷林の特色について説明しました。

また、こうした区域内のみどりを将来にわたって保全・創出するための手法として、地区計画制度の活用（地区施設や緑化率の最低限度）や、杉並区の緑化計画等の制度について紹介しました。

② 景観について

杉並区景観計画や、区内の他の地区計画における景観形成に関する取組を紹介しました。

主なご意見

- けやき屋敷の南側は、古道である。けやきを残してほしい。
- 樹木を移植するのは費用的にも大変なので、新しい木を植え替えたほうが良いと思う。

みどりの保全・創出の考え方（出典：阿佐ヶ谷駅周辺まちづくり方針）



第4回意見交換会 ● 検討テーマ：区域内の道路や街並み

【開催日：平成30年2月23日(金) / 会場：阿佐谷地域区民センター2階 第1集会室 / 出席者：11名】
区域内の道路（歩行空間や沿道緑化）や街並み（建物高さ等）のあり方について意見交換を行いました。

説明した主な事項

① 区域内の道路（歩行空間や沿道緑化）について

区域内の現在の道路の幅や交通規制、交通量（自動車・自転車・歩行者）などを説明し、区域内は通学や通院など歩行者も多く、交通が集中していることを共有しました。

また、第2回意見交換会で現地見学をした「練馬区江古田北部地区」の道路整備（幅員9m）の事例を紹介し、杉一馬橋公園通りが将来9mに拡幅された場合の、歩行空間や沿道緑化のイメージを共有しました。

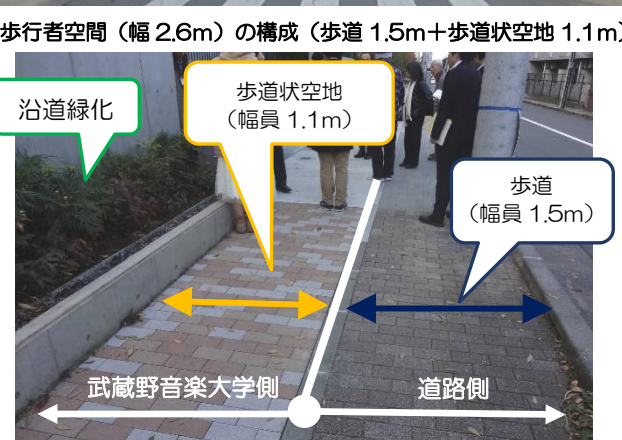
② 街並み（建物高さ等）について

第3回意見交換会で説明した「街並み誘導型地区計画」を使い、建築物の高さをそろえることで調和のとれた良好な街並み形成が可能であることを改めて説明しました。

主なご意見

- 杉一馬橋公園通りは、坂道で自転車がスピードを出しているなど危ないので、歩道が必要だと思う。
- 杉一馬橋公園通りが拡幅されれば、商店街の交通量が減るのではないか。

幅員9mに拡幅した道路の事例（練馬区江古田北部地区）



阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりの課題のまとめ ～皆様からのご意見での振り返り～

- 区域北側は一方通行や狭い道路が多い。
- 坂道になっており、自転車がスピードを出して走っている。
- 道路北側から人や自転車の飛び出しが危ない。
- 神明宮の参道で歴史ある道なので、景観への配慮が必要。
- 樹齢数百年のけやきが残る大切な古道。
- 歩行者のための緑道にして、けやきを残してほしい。



- 凡例
- 「安全・安心」「にぎわい」
 - 区域内の道路や街並み
 - 区域内の街並み(景観・みどり)
- : 皆様からのご意見
- : それぞれの会で説明した主な内容
- 土地区画整理事業による付替え後の幅員や交通規制の考え方について説明しました。
 - 杉一馬橋公園通りの拡幅により、商店街の交通量が減ると思う。
 - 壁面後退することで、歩行者空間も広がり安全になると思う。
 - 高さ制限が適用されるのは、建替えの際でよいのか。
- みどりを保全する手法（地区計画制度の活用）について説明しました。
- 新進会商店街で一番高い建物は25mを超えていることを説明しました。